

『中国文化』 総目次(創刊号〜6号)

創刊号(『漢文学会会報』38号)一九八〇年刊

巻頭言 新たなるいで立ちにあたりて……………加賀 栄治(1)

一、王充『論衡』の思想における批判的合理性と科学的思惟との関連をめぐる若干の問題について……………堀池 信夫(8)

……………間嶋 潤一(15)

一、鄭玄に至る『周礼』解釈の変遷について……………加藤 敏(29)

一、張九齡の感遇詩について……………小谷 一郎(41)

一、創造社と少年中国学会・新人会―田漢の文学及び文学観を中心に……………上田 武(57)

一、陶淵明の詩文の読解指導覚え書き―漢文学習における読解と表現をめぐる……………戸川芳郎・田部井文雄・井関義久(69)

一、座談会「漢文の授業で何ができるか」……………佐々木良・上田武(司会伊藤虎丸)(93)

学 会 彙 報……………白井 啓介(1)

一、文明新戯運動の前段階―清末演劇改革運動の限界と影響力……………相原 茂(15)

一、中国語動詞の特異性と普遍性―一見相反する意味を持つ動詞を例として……………川上 義三(1)

2号(『漢文学会会報』39号)一九八一年刊……………川上 義三(1)

一、符禺の山と彭衛・馮夷など……………川上 義三(1)

……………川上 義三(1)

―羌族の跡をたずねて―

一、「擬話本」中の韻文について……………小松 建男(14)

一、江戸時代の漢語法書にみられる「活字・死字」について……………国金 海二(28)

一、〈座談会〉漢文教育の現場から……………野口 明・加藤 章・金子彰男(38)

……………野地安伯・伊藤虎丸(38)

一、昭和五七年度改訂を前にして……………野口 明・加藤 章・金子彰男(38)

……………野地安伯・伊藤虎丸(38)

一、〈資料〉「昭和五五年度 高等学校教育開発指導資料集(国語)〈抜粋〉(東京都教育庁指導部編)……………(32)

○学 会 彙 報……………(33)

3号(『漢文学会会報』40号)一九八二年刊……………(33)

一、陳符道の『論語全解』に関する一考察……………高橋 明郎(1)

一、徐禎卿の「楽府」について……………鷺野 正明(12)

一、四・一二クーデター前後における第三期創造社同人の動向……………小谷 一郎(24)

一、王統照の「山雨」について……………広野 行雄(42)

一、〈座談会〉「これからの漢文教育」……………鎌田 正・大木春基・月洞 謙(56)

……………加賀栄治・伊藤虎丸・松村英夫(56)

一、〈資料紹介〉『台湾日日新報』所載章炳麟論文について……………阿川 修三(63)

○学 会 彙 報……………(63)

4号(『漢文学会会報』41号)一九八三年刊……………川上 義三(1)

一、鮑魚の山と顛頊、昆吾……………川上 義三(1)

……………川上 義三(1)

……………川上 義三(1)

……………川上 義三(1)

……………川上 義三(1)

……………川上 義三(1)

……………川上 義三(1)

一、《春秋事語》と戦国策士……………高橋 均…(16)

一、苦吟派の詩—孟郊試論……………横山伊勢雄…(32)

一、王統照第一短篇集の評価をめぐる……………広野 行雄…(51)

一、教育課程の改訂と漢文の授業
—陶淵明の詩文の読解指導覚え書き・続—上田 武…(63)

一、「項王笑曰、『天之亡我、我何渡為』」などについて
の若干の問題……………吉原 英夫…(79)

○学会 彙報……………(85)

5号(『漢文学会会報』42号)一九八四年刊

一、鄭玄の「曰若稽古帝堯」解釈をめぐる問題と
『周礼』国家……………間嶋 潤一…(1)

一、阮籍の「首陽山賦」について……………沼口 勝…(13)

一、杜子春とその虚像と実像……………西岡 晴彦…(23)

一、陳子昂の詩における叙景の特色をめぐる……………加藤 敏…(39)

一、西昆体の余派について……………高橋 明郎…(51)

一、『和漢朗詠集』中の日本漢詩について……………山野清二郎…(63)

一、漢籍・読書・漢文考……………千原 勝美…(80)

○学会 彙報……………(92)

6号(『漢文学会会報』43号)一九八五年刊

一、仲長統について……………堀池 信夫…(1)

二、『阮籍と「詩経」—四言「詠懷詩」を例として—沼口 勝…(15)

三、陶淵明「始作鎮軍參軍、經曲阿作」詩について

四、庚信「思旧銘」について……………上田 武…(30)

五、再論杜子春伝……………内山 知也…(59)

六、李賀と時間……………河田 聡美…(73)

七、梁啓超における啓蒙思想の理念—その形成と問題—
……………佐藤 一樹…(89)

○学会 彙報……………(99)

学 会 彙 報

○昭和六十年年度大塚漢文学会大会
六月二十二日(土)

於東京都教職員互助組合教育会館

〔研究発表会〕

一、「則個」考—《水滸伝》百二十回本の用例をめぐる—
……………筑波大学大学院 阿部 博幸氏

一、幽風七月の特質をめぐる……………筑波大学大学院 増野 弘幸氏

一、元結の詩について……………筑波大学附属高校 加藤 敏氏

一、傅雷とその家書について……………愛知大学 白井 啓介氏

一、莊存与の「春秋要旨」について……………筑波大学 中村 俊也氏

一、阮籍の四言詠懷詩について……………山形大学 沼口 勝氏

一、龔自珍の「宥情」と戒詩について